2022年度ユース審判員派遣 in U－12

（一社）青森県サッカー協会審判委員会

1.　大会名　AOFA第54回青森県U－12サッカー大会
2.　期　日　2022年6月11日（土）、6月12日（日）、6月18日（土）
3.　会　場　七戸町総合運動公園サッカー場
4.　参加者

ユース審判員

- 橘 聖蘭　　（サッカー3級）
- 菩提寺 俊甫　（サッカー3級）
- 向中野 美虹　（サッカー3級）

審判インストラクター

- ◆ 石田　明（県審判委員会レフェリーアカデミーマスター）
- ◆ 石鉢　学（県審判委員会強化・指導育成部ユース担当）

5.　競技方法（抜粋）

- 競技規則は（公財）日本サッカー協会「8人制競技規則」に準ずる。
- 試合時間は40分（ハーフタイムのインターバルは10分）。ただし、競技時間内に勝敗が決しない場合は10分間の延長を行い、なお決しない時は3名によるPK方式により次回進出チームを決定する。決勝戦も同様とする。
- 交替人数は8名までの自由な交代。
- 本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置は規律フェアプレー委員会で決定する。

6.　会場の様子

7.　参加者レポート

●　橘　聖蘭（サッカー3級ユース審判員）

今回、五戸すずかけSC 対 根岸フィールドスターFC の試合の主審をさせていただいて、改善点や自分がまだまだ未熟だなと思う点がたくさんありました。ファウルやオフサイド、ファウルスローなどの判定を自信をもってできない場面があって両チームに迷惑をかけ、フィールド内でも選手に何回か判定について言われてしまうことがありました。他にも多くの至らない点を感じ、本当に両チームの方々に迷惑をかけてしまい申し訳ないと思いました。これから審判員としてもっと経験を積んで、戦う両チームにフェアに気持ちよくプレーして貰えるよう、頑張って行きたいです。

両チームのみなさんには審判をさせて頂いて本当に感謝しかありません。今回参加させて頂いた大会本部の方々、アドバイスなどを沢山くれていろいろ指導してくださったインストラクターの石田さん、石鉢さん、袴田さん。補助審判員としてサポートして下さった尾上 FC の監督さん、本当に今回はありがとうございました。とてもいい経験になりました。これからも審判員としてサッカーに関わる方々のお力になれればと思います。今回は本当にありがとうございました！

●　菩提寺　俊甫（サッカー3級ユース審判員）

久しぶりに8人制審判を担当させて頂きました。前半は対角線審判法を意識しすぎて争点から離れたり、串刺しになって見たりする場面が多かった。またゴールキックとコーナーキックを間違える場面が多かった。後半は前半の問題点を解決するために縦に入って近いところで争点を見たり、串刺しにならないように努力した。試合全体を通してボールを持っている選手だけを集中して見ていたので、次に審判を担当するときは、もっと余裕を持って判定できるようにしたいです。他にも、色々な審判の方達をみて勉強になることが沢山ありました。ありがとうございました。

●　向中野　美虹（サッカー3級ユース審判員）

今回の大会に参加してたくさんのことを学ばせていただきました。初めて主審、そして 1 人審判をやったため、不慣れで至らない点がたくさんありました。しかし、インストラクターの方をはじめ、多くの審判、チームのスタッフの方々がアドバイスをしてくれたおかげで、成長できたような気がします。正確なジャッジをするためのポジショニングやセレモニー、ファウルや PK の時の手順などは実際に経験しないとよく分からないままだったので、方法を知り、経験できて良かったです。また、私は自信のない笛の音なので、笛に自分の感情を込められるように、たくさん練習しようと思います。

この大会を通して、改めて自分が恵まれていると強く感じました。分からない時に聞いたらすぐ教えてくれて、たくさん話しかけてもらえたので楽しく審判できました。周りの人に感謝の気持ちを持って、選手が安全でいい試合をできるようにこれからも頑張ります。

◆　石田　明（審判インストラクター）

昨年に引き続き、本大会に参加させていただきました。難しい環境下で感染予防に尽力し大会運営に携わられた皆様に御礼と感謝申し上げます。

さて、ユース審判員3名が大変お世話になりました。普段は経験しない運営面でも貴重な体験をさせていただき、試合ができるありがたさを感じることが出来たと思います。また、試合においてもチームスタッフよりありがたいお言葉を頂戴することができ、審判員としても励みになったと感じております。本大会を通じて得たことを次のステップに生かしながら、成長してもらいたいと思います。最後に、運営並びにチーム・選手にとって今後もより良い大会が続きますことを祈念いたすとともに、皆様方のご尽力に改めて敬意を表します。

◆　石鉢　学（審判インストラクター）

新型コロナウイルス感染防止の影響で日常からサッカーが遠のいている中で、本大会を開催するためにご尽力いただいた4種委員会の皆様に敬服いたします。さらに、ユース審判員を受け入れていただいたチームの皆様には、感謝の言葉しかありません。

さて、ユース審判員が主審をするだけでなく、8人制一人審判を体験するのは皆無。経験不足によるミスはあるものの、アドバイスを次の試合で修正しようと試みており、1試合ごとに成長していく姿がとても頼もしく感じました。大会役員としての心構えも含め、貴重な経験をさせていただくことができました。今後も4種委員会と連携して経験を積んでもらい、将来的には東北・全国で活躍する審判員が増えることを願います。本当にありがとうございました。

8.　補足

試合結果は、以下の Web ページに記載されています。そちらをご覧下さい。

（一社）青森県サッカー協会4種委員会 http://www.aomori-fa.jp/category/committee/all-committee/u12/